

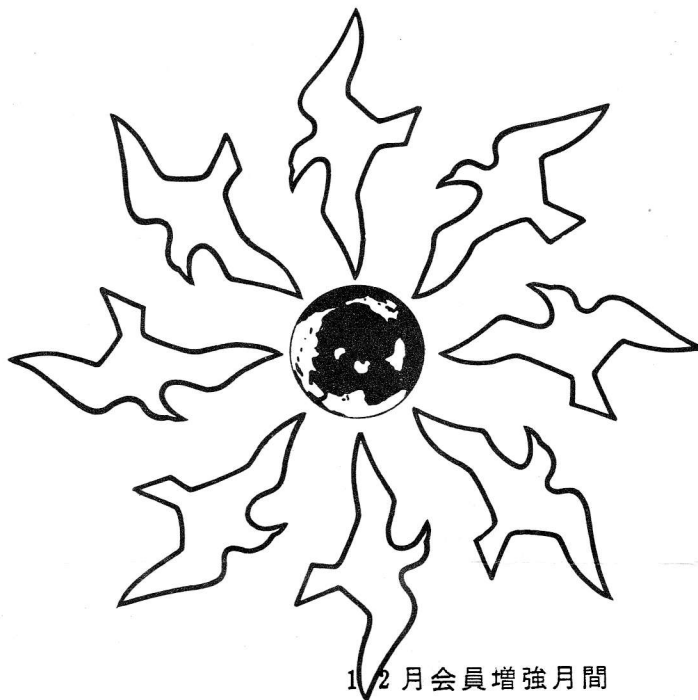


THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

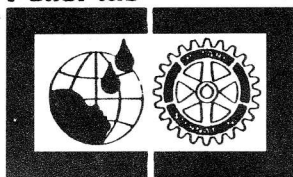
PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

ロータリーに
活力を--
あなたの
活力を



12月会員増強月間

PolioPlus



● 次回卓語予定者

1988, 12.2. (金) 第56回例会

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング(奉仕の理想)
4. 「四つのテスト」唱和
5. 食 事
6. 会長の時間
7. 幹事報告
8. 各委員会報告
9. 会員卓話
10. 12月セレモニー(誕生日・結婚記念日)
11. 点 鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-03 佐土原町大字上田島1883番地
TEL 0985-74-1078

会 長	山 脇	忍
副 会 長	池 田	仁 志
幹 事	齊 藤	数 馬
会 計	佐 野	保
会報委員長	垂 水	敏 雄

第 5 5 回例会記録 (昭 63 ・ 11 ・ 25)

会長挨拶 山 脇 忍

皆さん こんにちは。 本日は第 5 5 回例会
であります。

新入会員の方がいらっしゃいますので、ロー
タリーの基本的な事項について申し上げます。

ロータリークラブは、1905年、米国イリ
ノイ州シカゴにおいて、ポール・ハリスにより
創立されました。

当時、会場を持ち回りのしたのでこの名称があ
ります。

1988年9月現在、162国に23,720
のクラブがあり、105万人を超えるロータリ
アンを擁する世界で最初の最も国際的な奉仕団
体であります。

各クラブの会員は、ロータリーの綱領を踏ま
えて一業種一人の基準で選ばれ、職業を通じて
世界平和と親善、あるいは地域のニーズに応え
た「超私の奉仕」活動を行っています。

国際ロータリー第273地区には宮崎県23
クラブ、鹿児島県31クラブ、合計54のクラ
ブがあります。

わが佐土原ロータリークラブは、第273地
区において54番目に誕生した最も新しい新進
気鋭のクラブであり、これから飛躍を期待され
た素晴らしいクラブであると考えています。

活力のあるクラブを目指して一層の努力をお
願いする次第でございます。

ロータリー活動の基本となっていますのは、
クラブの定款・細則であり、就中ロータリー綱
領をよく理解し、それを実践に移すことが大事
であります。

ロータリー綱領は、次の4項目を総括して鼓
吹育成するものであります。

1. 奉仕の機会として知り合いを拡める。
2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高める。
あらゆる有用な職業は尊重されるべきで
あるという認識を深める。
ロータリアン各自が職業を通じて社会に
奉仕するために、その職業を品位あらし
める。
3. ロータリアンがすべてが、その個人生活、
職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想
を適用する。
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業
人の世界的親交によって、国際間の理解
と親善と平和を推進する。

皆さんと共に勉強しながら、一步一步「奉仕
の理想」の実現に邁進したいと考えます。

一緒に頑張りましょう。

病気を予防するワクチンが数多く発見され、
実施されています。

中でも、生涯に一度は罹るといわれていまし
た。“はしか”は、そのワクチンの画期的発見に
より、しかもその効果はほぼ100%に近く、
ワクチン接種さえすれば“はしか”はもはや罹
らないで済む病気となりました。

更に最近では、風疹ワクチン、おたふくかぜ
ワクチン、水とうワクチン等次々に発見され、
その予防効果も90%程度と高く優れたワクチ
ンであることは実証済みであります。

これに対し、インフルエンザワクチンの歴史
は古く、わが国で広く使用されるようになって
既に20年余りも経過しています。

それにも拘らず、未だにインフルエンザを完全に予防できるワクチンは開発されていない状況にあります。

インフルエンザワクチンの効果が発揮できない大きな原因の一つに、ウイルスが非常に変異しやすく、流行株の抗原性がワクチン株のそれと容易にずれて、ワクチンの効果が減少し効果の程度が常に変動しているという悩みがあり、今後に残されたワクチン製造上の最大の課題となっています。

ところが、最近人工膜でつくった本物のインフルエンザウイルスにそっくりの構造をもつ粒子を接種する新しいワクチンが、現行のワクチンに比べはるかに強力な予防効果を持つことがわかりました。

人間への投与テストでも効果が確認されています。

このワクチンはウイルスに感染した細胞をリンパ球が食べる細胞性免疫を賦与する、世界初のワクチンであるといわれています。

新ワクチンは、インフルエンザウイルスの表面に突き出ている抗原蛋白（現行ワクチンはこれのみを使用している）に、免疫機能を高める働きを持つムラミルジペプチドと呼ばれる物質とコレステロールをうまく組合せてつくっています。

ワクチンは球形の粒子状で、表面は薄い膜状になっており、そこにウイルスタンパクが突き刺さっています。 姿形は本物のインフルエンザウイルスとそっくりになっています。

このワクチンを健康人約10人に接種し、3週間後に血清中の抗体を調べた結果、もともとウイルスをやっつける抗体を殆ど持っていない人でも、予防に必要とされる目標の2~3倍の抗体ができました。

ワクチンをつくるのに使ったのと同じタイプ

のウイルスだけでなく、他のタイプや、時間がたつにつれて変異したウイルスに対しても十分な抗体産生力がわかりました。

これにより、二度接種しないと不十分であり、流行予測がはずれると効き目が大幅に薄れるなど、現行ワクチンが持つ欠点を克服したことになります。

また、新ワクチンは血液中のリンパ球がウイルスを認識して食べてしまう細胞性免疫もできることが、ねずみを使った実験で明らかになりました。

これは従来のワクチンにはない性質であり、細胞性免疫が十分にあれば、たとえ感染しても肺炎など重い症状にはならず済むといわれています。



幹事報告は本日はありません。

1988~1989年度
国際ロータリー第273地区
年次大会概要報告

垂水敏雄

昭和63年11月19日~20日に鹿児島市民文化ホールで開催されました、第273地区年次大会に、山協会長・池田副会長・斉藤幹事・濱田雑誌委員長及び私が出席させていただきました。

大会の詳細はガバナー月信に掲載されると思いますので、感想的な報告でお許しいただきたいと存じます。（なお、濱田委員長と私は別の会合の都合で、第1日目の15時に中座せざるを得ませんでしたこともお許しください。）

○ 鹿児島県の公共施設は、本県に比べてたしかに整備充実されているのは事実ですが、会場の鹿児島市民文化ホールも、東に錦江湾と桜島を望む景勝の地に在り、広大な前庭公園と駐車場を付備し、一流のホテル並みのホールが設けてあります。

お茶席コーナーでは、振袖姿の乙女のサービスがあり、佐土原 RC の純情な面々は去り難い思いのようでした。

○ 第1日目(11月19日)の9:30から11:00まで、クラブ会長・幹事・分区分代理協議会が開かれ、岡村俊一ガバナー、田口良一 RI 会長代理のあいさつなどに続いて、地区幹事、地区各委員会の報告がありました。主なものは次のとおりです。

・10月現在の地区現況

鹿児島県	31 RC	1,566人
宮崎県	23 RC	1,266人
7月~9月	入会者	106人
	退会者	30人
		76人(2.7%)増
	平均出席率	90.36%
	都城中央 RC	100%

・RIの「職業奉仕における新方針」について正しく理解していただくため10月23日、各クラブ職業奉仕委員長研究会を開きました。

新方針の真意は、ロータリーの職業奉仕は個人奉仕だけでなく、クラブも一緒にやってほしいということです。

会員個人が自主性をもって奉仕し、その

出席報告

第55回例会 11月25日(金)

会員数	19名
ホーム欠席者数	8名
ホーム出席者数	11名
ホーム出席率	57.89%
メイクアップ者数	0名
欠席者名	齊藤・神宮寺・岩切・上田 日高・郡司・正岡・蛭原

集団であるクラブが共に奉仕に寄与しようとする事は矛盾しないと考えられるからです。

・社会奉仕プログラムは、すべてが年度内に完了しなければならないとの誤解が一部にあるようですが、年度内に完了する社会奉仕を最低一つは計画していただきたいとの意味です。従って、継続的に実施している社会奉仕は別なものです。

ただ、相手との義理でやむなく継続している社会奉仕プログラムについては、マンネリ化を打破するため、打切りなどについて慎重に検討されるべきでしょう。

・会員の数を増やすだけでは駄目で、質を高めるように努力していただきたい。

ロータリーはよい人をつくり、よいロータリアンはよい世界をつくります。

○ 第1回本会議は、同日13:00開会されました。姉妹地区の韓国第366地区及び第372地区から約80名、第348地区中華民国台平西 RC から12名もの会員の参加があったのは注目すべきことでした。地区大会の国際化と共に、地区ガバナーは外国語でも一部挨拶するぐらいのサービス精神が求められる時が近いと感じた次第でした。

○ 第2日目(11月20日)の各種表彰で、佐土原 RC の創立に中心となってお指導賜りました宮崎北 RC 特別代表園山謙二先生が表彰されました。心からお慶び申し上げ、改めて御礼を申し上げます。

○ 年次大会決議で、1989~90年度の年次大会は、1989年10月21~22日宮崎市サンホテル・フェニックスで開催することに決まりました。会場に最も近い RC として、この次は“参加クラブ紹介”で満場を圧する当クラブの声が響くことを祈念するものです。

ビジター(敬称略)

愛知県 田原 RC 沼野昇一

◎県外から初めてのビジターです。